

(3) 支援者アンケート

調査シート 1/9

浜松市子どもの生活実態調査に係る支援者アンケート

貴支援団体の概要

団体名			
団体所在地			
ご担当者名		電話番号	
電子メール			
主な活動拠点	(住所・会場名) (活動名称) (活動開始年月)		
団体の構成員	運営スタッフ	常勤	人、非常勤 人
	ボランティアスタッフ	有償	人、無償 人

問 1-1 貴団体の事業形態をお選びください

	事業形態	チェック欄
1	地縁団体系の任意団体(自治会、町内会など)	
2	市民活動系の任意団体(サークル、クラブなど)	
3	特定非営利活動法人(認定特定非営利活動法人を含む)	
4	社会福祉法人	
5	社団法人(一般・公益)	
6	財団法人(一般・公益)	
7	株式会社などの企業(社内ボランティア活動を含む)	
8	その他()	

問 1-2 貴団体の「代表者」「活動の担い手」はどのような経歴をお持ちですか

「活動の担い手」の欄には人数をご記入ください

	経歴	チェック欄	
		代表者	活動の担い手
1	教員		
2	P T A 役員・委員		
3	行政関係者		
4	自治会関係者		
5	企業関係者(業界団体、商工会なども含む)		
6	福祉関係者(社会福祉協議会、民生委員児童委員など)		
7	市民活動団体関係者(N P O やボランティア団体など)		
8	その他()		

問 2-1 子どもの貧困対策に関する以下の活動（支援）のうち、貴団体が現在実施しているものにチェックしてください。

問 2-2 子どもの貧困対策に関する以下の活動（支援）のうち、貴団体が今後取り組みたいもの（検討段階も含む）にチェックしてください。

活動内容		チェック欄	
		現在	今後
a 子どもへの教育支援			
1	基礎的内容の学びなおし		
2	学習習慣の改善		
3	進学支援		
4	中退防止		
5	その他()		
b 家庭への食糧支援			
6	食事の提供		
7	食生活の改善		
8	食材の提供		
9	その他()		
c 家庭への生活支援			
10	子どもの生活スキル育成		
11	夜間滞在を含む住居の提供		
12	登校支援		
13	家庭での養育の支援		
14	その他()		
d 保護者・子どもへの就労支援			
15	就職先の紹介やあっせん		
16	進路相談		
17	その他()		
e 子どもの居場所づくり			
18	安心していただける場の提供		
19	仲間づくりの支援		
20	遊び場の提供		
21	その他()		
f その他ご支援いただいていること			
22	児童養護施設等入退所者の支援		
23	里親・特別養子縁組に関する支援		
24	子どもの貧困対策に関する活動以外の活動を実施		
25	その他()		

問 3-1 問 2 でお答えいただいた活動について、貴団体の活動範囲をお選びください

	活動範囲	チェック欄
1	町内会圏域(小学校区を細分化した単位町内会を指す)	
2	小学校区	
3	中学校区	
4	行政区	
5	市内全域	
6	隣接する複数の市町	
7	特に定めていない	

問 3-2 どのような方を支援することを目的としていますか (複数回答可)

	支援することを目的としている参加者	チェック欄
1	障害を持つ子ども又はその保護者	
2	ひきこもり・不登校の子ども又はその保護者	
3	非行歴のある子ども又はその保護者	
4	高校を中退した子ども又はその保護者	
5	ひとり親世帯	
6	外国にルーツを持つ子ども又はその保護者	
7	児童養護施設の出身者	
8	上記以外の経済的困窮世帯	
9	特に限定していない	
10	その他()	

問 3-2-1 問 3-2 で回答した目的としている方以外の参加者はいますか

1	いる	2	いない
---	----	---	-----

問 3-2-2 問 3-2-1 で回答した「目的としている方以外の参加者」はどのような方ですか

	目的としている方以外の参加者	チェック欄
1	障害を持つ子ども又はその保護者	
2	ひきこもり・不登校の子ども又はその保護者	
3	非行歴のある子ども又はその保護者	
4	高校を中退した子ども又はその保護者	
5	ひとり親世帯	
6	外国にルーツを持つ子ども又はその保護者	
7	児童養護施設の出身者	
8	上記以外の経済的困窮世帯	
9	特に限定していない	
10	その他()	

問 3-1 問 2 でお答えいただいた活動について、貴団体の活動範囲をお選びください

活動範囲		チェック欄
1	町内会圏域(小学校区を細分化した単位町内会を指す)	
2	小学校区	
3	中学校区	
4	行政区	
5	市内全域	
6	隣接する複数の市町	
7	特に定めていない	

問 3-2 どのような方を支援することを目的としていますか (複数回答可)

支援することを目的としている参加者		チェック欄
1	障害を持つ子ども又はその保護者	
2	ひきこもり・不登校の子ども又はその保護者	
3	非行歴のある子ども又はその保護者	
4	高校を中退した子ども又はその保護者	
5	ひとり親世帯	
6	外国にルーツを持つ子ども又はその保護者	
7	児童養護施設の出身者	
8	上記以外の経済的困窮世帯	
9	特に限定していない	
10	その他()	

問 3-2-1 問 3-2 で回答した目的としている方以外の参加者はいますか

1	いる	2	いない
---	----	---	-----

問 3-2-2 問 3-2-1 で回答した「目的としている方以外の参加者」はどのような方ですか

目的としている方以外の参加者		チェック欄
1	障害を持つ子ども又はその保護者	
2	ひきこもり・不登校の子ども又はその保護者	
3	非行歴のある子ども又はその保護者	
4	高校を中退した子ども又はその保護者	
5	ひとり親世帯	
6	外国にルーツを持つ子ども又はその保護者	
7	児童養護施設の出身者	
8	上記以外の経済的困窮世帯	
9	特に限定していない	
10	その他()	

問 3-3 目的としている方を集めるために、具体的にどのような取り組みを行っていますか

--

問 3-4 対象となる年齢層は、以下の内、どのような方ですか（複数回答可）

年齢層		チェック欄
1	未就学児	
2	小学校低学年（1～3 年生）	
3	小学校高学年（4～6 年生）	
4	中学生	
5	高校生	
6	大学生・専門学校生等	
7	上記以外の子ども（20 歳未満）	
8	子どもの保護者	
9	特に限定していない	
10	その他（ ）	

問 3-5 活動の実施頻度は次のどれにあてはまりますか

※複数の事業所で実施されている場合は、最も頻度が高い事業所についてお答えください。

活動頻度		チェック欄
1	週 3 回以上	
2	週 1～2 回程度	
3	2 週間に 1 回程度	
4	1 か月に 1 回程度	
5	数か月に 1 回程度	
6	特に限定していない	
7	その他（ ）	

問 3-6 月平均利用者数（月単位で活動していない場合、月平均に換算した数）はどの程度ですか。延べ人数でお答えください。

利用者数		チェック欄	利用者数		チェック欄
1	0 人		7	50～99 人	
2	1～9 人		8	100～199 人	
3	10～19 人		9	200～299 人	
4	20～29 人		10	300 人以上	
5	30～39 人		11	把握していない	
6	40～49 人				

問 3-7 子どもの貧困に関する支援活動を行った結果、子ども達にはどのような変化が見られたと考えられますか。活動を通じて感じたことをお答えください。(複数回答可)

子ども達の変化について		チェック欄
1	進学することができた	
2	就職することができた	
3	学力が向上した	
4	自治体や他の団体との連携により、公的支援を受けられた	
5	学びや就労などの社会生活への意欲が向上した	
6	他者とのコミュニケーション能力が向上した	
7	笑顔が増えた	
8	自尊心・自信が醸成された	
9	子どもが親以外に頼れる「大人」を増すことができた	
10	健康・栄養状態の改善ができた	
11	様々な体験の機会を得ることを通じて生活の質が向上した	
12	将来に希望が持てるようになった	
13	特に変化は見られない	
14	その他()	

問 4-1 現在、貴団体が子どもの貧困対策に関する活動を行うにあたり、「連携している関係機関」と、「今後連携したい関係機関」をお答えください（複数回答可）

	関係機関	現在	今後
1	行政の福祉関係部署（福祉事務所、児童相談所等）		
2	行政の教育関係部署（教育委員会等）		
3	行政の保健機関（保健所、精神保健福祉センター等）		
4	行政の就労支援機関（ハローワーク等）		
5	社会福祉協議会		
6	保育園、保育所、幼稚園		
7	小学校、中学校		
8	高等学校		
9	大学、専修学校等		
10	医療機関		
11	矯正・更生保護機関（保護観察所、少年鑑別所等）		
12	民間企業		
13	経営者団体（商工会議所、商工会等）		
14	地域の特別職ボランティア（民生委員、児童委員等）		
15	NPO、ボランティア団体 (団体名：)		
16	連携する予定はない		
17	その他()		

問 4-2 子どもの貧困対策に関連するネットワークに所属していますか。（複数回答可）

	ネットワークの種類	チェック欄
1	全国規模のネットワークに所属している	
2	都道府県単位のネットワークに所属している	
3	市区町村単位のネットワークに所属している	
4	所属していない	
5	その他()	

問 4-3 問 4-2 で「1～3, 5」を選択された方は、所属することによる利点をお答えください

問 4-4 問 4-2 で「4」を選択された方は、所属しない理由をお答えください

問 5-1 貴団体が子どもの貧困対策に関する活動を行うにあたり、現在の課題をお答えください。（複数回答可）

	課題	チェック欄
1	団体の運営に関する経験や情報が不足している	
2	団体を継続するための資金が不足している	
3	団体運営の中心的役割を担うスタッフが不足している	
4	団体運営をサポートするボランティアが不足している	
5	金銭面以外の理由で活動に必要な物資、場所、設備の確保が難しい	
6	活動規模を拡充したいが、実現できない	
7	広報の方法が分からない	
8	支援を必要とする対象者（子ども、保護者、世帯）の把握が難しい	
9	支援を必要とする対象者に来てもらうことが難しい	
10	支援している対象者に変化が見られない	
11	参加者が少ない	
12	参加者が多く、対応できない	
13	参加者の個人情報の管理が難しい	
14	他機関・団体との連携が不足している	
15	その他（ ）	

問 5-2 これまでに対応した課題と、最も有効だった対策方法についてお答えください。

--

問 5-3 これまでの支援活動のご経験から、厳しい状況に置かれている子どもや世帯に不足していると考えられるものを、重要なものから順に最大5つまでお答えください

最も重要なもの	
2 番目に重要なもの	
3 番目に重要なもの	
4 番目に重要なもの	
5 番目に重要なもの	

問 6-1 貴団体が子どもの貧困対策に関する活動を行う中で、支援対象者の特徴、抱えている課題などがあればお答えください。（複数回答可）

保護者の状況、 特徴・課題等	【特に困難を抱えやすい属性・背景等】 【子どもとの関わり方での課題】 【就労の状況等の経済状況】 【支援制度等の利用状況】 【その他】
子どもの状況、 特徴・課題等	【特に困難を抱えやすい属性・背景等】 【保護者との関わり方での課題】 【生活習慣や社会性の定着状況】 【学力面や学習習慣の定着状況】 【その他】

問 6-1 貴団体が子どもの貧困対策に関する活動を行う中で、支援対象者の特徴、抱えている課題などがあればお答えください。（複数回答可）

保護者の状況、 特徴・課題等	【特に困難を抱えやすい属性・背景等】 【子どもとの関わり方での課題】 【就労の状況等の経済状況】 【支援制度等の利用状況】 【その他】
子どもの状況、 特徴・課題等	【特に困難を抱えやすい属性・背景等】 【保護者との関わり方での課題】 【生活習慣や社会性の定着状況】 【学力面や学習習慣の定着状況】 【その他】

問 6-2 貴団体が子どもの貧困対策に関する活動を行うなかで、今後の展望についてお答えください。

今後求められる取組や支援	【関係機関・団体に対して】 【困難を抱える子どもに対して】 【主に対応することの多い相談内容】 【対応に苦慮する(した経験のある)相談・支援内容】
今後、必要と考える支援	

問 7 「こども基本法（令和 5 年 4 月 1 施行）」においては、こども施策の策定等へのこどもの意見の反映させること、「こどもの居場所づくりに関する指針（令和 5 年 1 2 月 2 2 日閣議決定）」では、「こどもの声を聴き、こどもの視点に立ち、こどもとともにつくる居場所」が基本的視点として明記されるなど、こどもからの意見をこども支援の施策に反映させていくことが求められます。貴団体において、こどもからの意見の聞き取りや活動への反映に関して取り組まれている工夫や、こどもからの意見聴取に関してのご意見等がありましたら、ご記入ください。

--

アンケートは以上です。お忙しい中ご協力頂き、ありがとうございました。

《本調査についての問い合わせ先》

浜松市役所 子育て支援課 「子どもの生活実態調査」担当

電話：053（457）2792

FAX：053（457）3011

Eメール：kosodate@city.hamamatsu.shizuoka.jp

